

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 392番
- *交読文 28番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 107番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 203番
- 聖餐式..... 281番
- メッセージ どの法則に乗って生きるか(ローマ 7:14-8:2)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 393番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が 70 名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

肉に従う者は肉的なことをもつぱら考えますが、御霊に従う者は御霊に属することをひたすら考えます。肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。肉の思いは神に対して反抗するものだからです。それは神の律法に服従しません。いや、服従できないのです。もし神の御霊が_____のうちに住んでおられるなら、_____は肉の中にはなく、御霊の中にいるのです。もしキリストが_____のうちに住んでおられるなら、からだは罪のゆえに死んでいても、霊が、義のゆえに生きています。もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、_____のうちに住んでおられるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、_____のうちに住んでおられる御霊によって、_____の死ぬべきからだをも生かしてくださるのです。(ローマ 8:5-11)

私達はキリストに似た者へ、清く聖なる者になりたいと願っているが、やっている事はハエのようで、汚い思いに吸い寄せられ、うるさく人に付きまとはって神経を逆撫でさせ、ペタッと汚い思いをくっつけたりする。聖書に記されている為すべき事は分かっているのに、それができず、かえって、してはならぬ悪を行なってしまう。あたかも自分の中に二つの異なるものが住んでいて、その葛藤の内に、したくない事をしてしまう。今日は、そうした葛藤から開放される方法を学びたい。

まず、私達はなぜハエのような汚れた行いをしてしまうのか。それは、私達の内に宿る罪の故である。「そこで、この事をしているのは、もはやわたしではなく、わたしの内に宿っている罪である。」(ローマ 7:17) よく、わたしはサタンの子だとか、罪の申し子だとかの「偽り」を思い込まされている人はいるが、この節を良く読むと「罪≠私」であり、私とは別物なる”罪”という楔が、私に打ち込まれている原理を見出す。罪は外来性のものであり、アダムとエバが自分の意思を用いて善悪の知識の木の実を取って食べ、神から離れ自分の善悪判断で生きる生き方を”選択”してしまった時、この楔が打ち込まれてしまったのだ。皆さんに犬が噛み付いて、痛くて、のた打ち回っている時、「のたうち回る自分が悪い」と言って自分を打ち叩くだろうか？いや、犬を打ち叩くはずである。同様に、罪にのたうち回る自分を、滝に打たせても、冷水を浴びせても、その他あらゆる修行も、無意味である。打ち叩くべきは、自分ではなく、罪である。この罪に対し、どう対処したら良いのだろうか。

キリスト者が葛藤する原因が、21-23節にある。この節で「原理」とか「律法」とか訳されている言葉は、皆、同じギリシャ語「ノモス」という言葉で、「法則」という意味である。これらの節の中から、3種類の法則を見出す。第一の法則は「神の法則」。しかし、からだの中に異なった第二の法則があつて、「心の法則」(第三の法則)に戦いを挑み、「罪の法則」(第二の法則)のとりこにしている。これが葛藤の原因であり、これら三つの法則のせめぎあいのために、したい善が出来ないのだ。つまり、事は頑張りとか人格とかの問題ではなく、法則の問題である。同じ60kgの女性がいて、一方は人格者で、他方は悪人だとする。体重計に乗ると、人格者はボーナスで体重計が30kgを指し、悪人のほうはペナルティで90kgを指す、などという事は、ありうるだろうか？そんな事は有り得ない。法則に反するからである。法則がそうなら、別の法則によって対処するものである。パウロは、24節では自分のみじめだと叫んでいるのに、25節では喜びに溢れ感謝を叫んでいるのはなぜか？それは、対処方法を見出したからである。そう、対処方法があるのだ！私達にも。

「キリスト・イエスにある”いのちの御霊の法則”は、罪と死との法則からあなたを解放した」(ローマ 8:2) この第四の法則”いのちの御霊の法則”こそ、罪と死の法則に対抗する唯一の手段である。この世には重力の法則があり、それに縛られている限り人は地上から離れる事はできない。ところが、ライト兄弟が飛行の法則を発見し、飛行機に乗る事で地上を離れる事が出来るようになった。同じように、キリスト・イエスがいのちの御霊の法則を開放し、私達も罪から離れる事が出来るようになった。どうしたらこの法則に乗っかる事が出来るのだろうか？それは、皆さんの継続的な選択の問題であり、肉によらず、霊によって歩み続ける選択によって、である。欽定訳のローマ 8:1 を訳すと「こういうわけで、今や、肉によらず霊によって歩み続けるキリスト・イエスにある者は、罪に定められることがない。」となる。(ネストレの底本からは斜体部分がなぜか削除されている。) 命の御霊の法則に乗り続けるには、肉によらず霊に従って歩み続ける事によって、である。あらゆる場面において、罪に対して死んだ者であると「仕分け」し、キリスト・イエスにあって神に生きている者であると「仕分け」する事である。(ローマ 6:11) 私達の死ぬべき体を、罪の支配や情欲に「委ねない」と選択し、死人の中から生かされた者として、自分自身を神に捧げ、自分の体を義の武器として神に捧げる事を、意思で決定するのである。(同 12-13 節) 私達はアダム以来、選択によって罪と死を取り入れてしまった。故に、選択によって、救われるのだ。御言葉によって正しく仕分けし、霊に従って歩む事を選択し続け、いのちに歩む皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

1部礼拝(韓国語中国語通訳有) 10:30
 食事/フェローシップ 12:00～
 2部礼拝 14:00
 聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
 火・木 夜の祈祷会 21:00～

水曜集会

1部 13:00～
 2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
 6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
 JR・関内駅より徒歩10分
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
 毎日携帯にお届けします。
 左記コードを読み込み、
 空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト